



乙
利
山
丸

F-0145 |

8436

外機密

一二七八三 暗 昭和十九年九月廿九日後七時三十分 政三
在 蘇 佐藤大使
重光外務大臣

利山丸捜査ニ關スル件
第一三四五號 至急
北千島ニ向ケ航行中ノ利山丸(四八五〇噸)二十一日午後八時四〇分頃東經一四五度三〇分北緯四九度三六分附近ニ於テ所在不明トナリ以來挿査中ナルモ全然手掛リナク(浮遊物ヲモ發見シ得ヌ當日ハ荒天ナリシ次第ニモアリ同船又ハ同船乗組員ハ蘇聯領北樺太又ハ「オホツク」海方面附近ニ漂流若クハ避難シ居ルヤモ知レスト思惟セラルルニ付至急蘇俄ニ御照會ノ上結果判明次第御電報アリ度又發見ノ場合ハ必要ナル救助及保護ヲ與ヘラルル様併セテ御申入レ置キアリタシ
尙貴使限リノ御含迄ナルカ同船(北千島向ケ軍需品ヲ積載シ居ル趣ナリ 浦潮及「ベトロ」へ轉電セリ

外機密

符 暗 昭和十九年 九月廿九日 後六時卅分 政三
管 主

在 浦潮 廣瀬總領事
利山丸捜査ニ關スル件
第一九〇號 至急
重光外務大臣
本大臣發在蘇大使宛電報第一三四五號
二十一日午後八時四〇分頃東經一四五度三〇分北緯四九度三六分附近ニテ北千島ニ向ケ航行中ノ利山丸(四八五〇噸)行衛不明トナリ爾來我方ニ於テ鏡意捜査中ナルモ手掛リ全然ナク當日ハ荒天ナリシ次第ニモアリ同船又ハ同船乗組員ハ北樺太又ハ「オホツク」海方面蘇聯領附近ニ避難若クハ漂流シ居ルヤモ知レサルニ付蘇俄ニ至急御照會ノ上結果判明次第御電報アリ度又發見ノ場合ハ必要ナル救助、保護ヲ加ヘラルル様併セテ蘇俄ニ申入レ置キアリタシ

電信寫

電信寫

外機密

外類

總 番 一 二 七 八 四	符 號 （ 暗 ）	昭 和 十 九 年 九 月 廿 九 日 後 七 時 卅 分	主 管 政 三
---------------------------------	-----------------------	---	------------------

在ベトロ 高尾領事代理

利山丸捜査ニ關スル件

第五號

本大臣發在蘇大使宛電報第一三四五號

重元外務大臣

尙書使限リノ御含ミナルカ利山丸ニハ軍需品ヲ積載ノ由
浦潮及「ベトロ」ハ轉電セリ

寫送先

願務問 政務 戰約 條約 調查 人事 儀典 文書 會計 會報 秘書 弘報 戰調

大臣 次官

極秘

分類 外務省 秘 1

電信課長

外務省

昭和19 一五〇〇西 暗 莫新科 十月二日二時四九分 政

重光外務大臣 第二〇三〇號 佐藤大使

(利山丸接室ニ歸スル旨)

頁電第一三四五號ニ關シ
二日下田ヲシテ「ゲネラーロウ」ニ請シ御來示ノ通りノ次第申入レ
シメタル處「ゲ」ハ早速現地官憲ニ照會ノ上結泉判明次第通報ス
ヘク又若シ利山丸遭難等ノ場合ハ必要ナル保護援助興ヘラルヘキ旨
述ヘタル趣ナリ
活瀬及「ベトロ」ヘ轉電セリ

外機密

電信寫

F. 1. 8. 0. 2

號 番 二 八 三 五

符 暗

昭和十九年九月三十日後六時

分 電

在 蘇 佐藤大使

重光外務大臣

電信事項

第一三四九號

往電第一三四五號ニ關シ

利山丸ハリザン丸ト發音ス

「ベトロ」ヘ轉電セリ

外機密

電信寫

2. 1. 1. 2.

發 番 一 一四八五三	符 (昭 和十九年十一月一日後七時卅分	政三
<p>在 蘇 佐 藤 大 使 利 山 丸 搜 査 ニ 關 ス ル 件 第 一 五 五 〇 號 貴 電 第 一 三 四 五 號 ニ 報 シ 條 聯 ニ 申 入 以 來 既 ニ 一 ケ 月 ニ 及 ビ 居 ル ニ 付 更 ニ 御 督 促 ノ 上 結 果 御 回 電 ア リ タ シ</p> <p style="text-align: right;">重 光 外 務 大 臣</p>		

F-0145

0440